

和歌山縣報

第七十一號

大正二年四月九日

○訓令

○和歌山縣訓令第二十號

同	蠶業	水產	水產	縣立	地方	物產	縣立	同	警	市	郡	廳
支	取	講	試	立	測	陳	學	分	察	役	役	中
所	締	習	驗	校	候	列	署	署	署	所	所	一
	所	所	場		所	場						般

原蠶種製造所
農事講習所
縣立圖書館
縣金庫

明治四十年^月一和歌山縣訓令第三號和歌山縣會計事務規程中第二條ヲ左ノ通改正ス

大正二年四月九日

和歌山縣知事 川村竹治

第二條 此ノ規程ニ於テ各麻ト稱スルハ郡役所警察署縣立學校地方測候所水產試驗場水產講習所
縣立農事試驗場物產陳列場原蠶種製造所農事講習所及縣立圖書館ヲ謂フ

○ 告 示

○和歌山縣告示第三百三十七號

左記埋立地ハ所屬未定地ニ付町村制第三條ニ依リ東牟婁郡勝浦町ノ區域ニ編入シ大正二年四月十日ヨリ施行ス

大正二年四月九日

和歌山縣知事 川村竹治

東牟婁郡勝浦町字高森千百三十五番地先

一海面埋立地 壹反壹畝貳拾步

同郡同町字尼谷 自千百五十一番地先
至千百五十六番地先

一海面埋立地 貳反七畝拾六步六九

○和歌山縣告示第百三十八號

大正二年三月廿八日東牟婁郡三津ノ村大字田長字瀬戸山林ニ出獵中左記狩獵免狀遺失ノ旨届出タ
リ

大正二年四月九日

和歌山縣知事 川村竹治

記

新第四九號 大正元年十月十七日下附

乙種三等狩獵免狀 一枚

東牟婁郡三津ノ村大字田長百七十九番地
平民農業

下田甚作

○和歌山縣告示第百三十九號

左記自轉車鑑札ハ紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス但シ該鑑札ヲ發見シタル者ハ最寄郡市役所ニ
届出ツヘシ

大正二年四月九日

和歌山縣知事 川村竹治

鑑札番號

紛失年月日

住 所 氏 名

第四六五〇號

大正二年二月六日

伊都郡高野口町大字名倉

岡本正一

第四六六九號

同 三月廿七日

同 橋本町大字東家

永井保三郎

○和歌山縣告示第四百十號

海草郡楠見村大字平井四百四番地

開業産婆

森畑いその

右今般病氣ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日、和歌山縣産婆名簿ノ登録ヲ取消ス

大正二年四月九日

和歌山縣知事

川村竹治

○和歌山縣告示第四百十一號

大正二年三月二十八日、和歌山商業會議所議員選舉執行ノ結果當選者左ノ通確定シタリ

大正二年四月九日

和歌山縣知事

川村竹治

一、定期改選ニ因ル當選者

廣田伊助

廣田善八

古田吉兵衛

矢田由松

中川富之助

馬場主計

前田辰之助

糸川善之助

神前純一郎

寺田良左衛門

九鬼千代松

谷爲察太郎

和歌山水方電氣株式會社

株式會社和歌山米株取引所

中村龜之助

一、補缺選舉ニ因ル當選者

岡安兵衛

○辭令

○大正二年四月五日

物品出納吏ヲ命ス

○大正二年四月七日

市立和歌山實科高等女學校教諭ニ任ス

十級俸ヲ給ス

任東牟婁郡書記

給六級俸

給六級俸

依願免本官

檢疫委員ヲ命ス

沖繩縣へ出向ヲ命ス

師範學校武藝教師嘱託ヲ解ク

縣立田邊高等女學校教諭心得ヲ命ス

月俸參拾圓ヲ給ス

會計吏員ヲ命ス

月俸拾八圓ヲ給ス

○大正二年四月八日

縣立田邊中學校武藝教師ヲ命ス

正八位

池内茂雄

田邊高等女學校書記

栗山良藏

奈良縣宇智郡五條町立實業學校教諭

大岡房江

任東牟婁郡書記

縣屬

山野井俊章

給六級俸

有田郡書記

竹内包三郎

依願免本官

有田郡書記

前田八郎

沖繩縣へ出向ヲ命ス

師範學校教諭兼訓導

小林東一郎

縣立田邊高等女學校教諭心得ヲ命ス

鈴木靜

會計吏員ヲ命ス

竹内包三郎

○大正二年四月八日

縣立田邊中學校武藝教師ヲ命ス

正八位

池内茂雄

月俸參拾八圓ヲ給ス

有田郡藤並村田殿村御靈村學校組合立吉備實業學校教諭

兼同校附設技藝補習學校調導

宮 芝 貞 橘

忠清南道へ出向ヲ命ス

○ 彙 報

○ 行 政

○縣稅及村稅賦課ニ關スル異議申立裁決 伊都郡隅田村縣稅戶數割及村稅戶別割異議申立ニ對シ縣參事會ハ大正二年三月三十一日左ノ通裁決セリ

決 定 書

伊都郡隅田村

異議申立人 田 中 德 太 郎

外六十一名

右異議申立ノ要旨ハ(一)伊都郡隅田村會カ縣稅賦課規則第十七條ノ期限内ニ縣稅戶數割賦課細目ノ議決セストテ大正元年十月二日縣參事會カ之ヲ代議セシ趣ナルモ納人ニ何等通告ヲナサスシテ前期ト同額ノ賦課ヲ後期ニ於テナシタリ果シテ十月二日縣參事會ニ於テ議決シタルモノナレハ前期日經過後ナルヲ以テ適當ノ方法ニ依リ其ノ期日ヲ指定スヘキ筈ナルニ之カ手續ヲナサ、ルハ不當ノ賦課ナリ(二)戶數割ハ縣稅賦課規則ニ依リ年額ナ二分シ前後四期ニ分納スヘキ筈ナルニ縣參事會ノ議決ハ十月二日ニシテ既ニ前期ノ期日ヲ經過シ成規ノ期限内ニ分納スル能ハサラシム之レ

即違法ノ議決ニシテ不當ノ賦課ナリ三二内田寅松、庭田虎之助、尾上信吉ノ三名ハ本村内ニ數年來引續キ住居シ獨立ノ生計ヲ營ミツ、アルモノニシテ當然戶數割負擔ノ義務アルニ拘ラス縣參事會ハ之レヲ賦課戶數ニ加ヘス之レ賦課規則第十六條第十七條ニ違背セル議決ナリト謂フニ在リ

依テ府縣制第一百五條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クル處異議申立人主張ノ第一ハ理由ナシ隅田村ニ係ル縣稅戶數割ノ賦課細目ハ府縣制第九條第二項ニ依リ大正元年十月二日縣參事會ニ於テ議決シタルモノナルモ其ノ議決ハ法律上之ナ個人ニ通告スヘキ規定ナキヲ以テ本會ノ議決ニ基キ直ニ後期分ヲ賦課シタレハトテ決シテ失常ナリト謂フヘカラス又異議申立人ハ「前期日ヲ經過スルヲ以テ適當ノ方法ニ依リ其ノ期日ヲ定ムヘキモノナルニ其ノ手續ヲ施行セサル云々」ト主張スルモ其ノ所謂前期日トハ戶數割前期分ノ徵收期日ヲ指スモノナルカ將亦縣稅戶數割ノ賦課細目ヲ議決スヘキ期日即チ縣稅賦課規則第十七條ノ期日ヲ指稱スルモノナルカ頗不明ナリ今假リニ前者ヲ採ランカ後期分ヲ徵收スルニ方リ前期日ヲ經過シタレハトテ明治三十七年九月縣稅徵收細則ノ規定スル所ニ基キ賦課徵收シタルモノナレハ決シテ違法ナリト謂フヲ得ス若シ夫レ後者ニ依ランカ縣參事會ハ府縣制第九條第二項ニ該當スルトキハ何時ニテモ縣稅ノ賦課細目ヲ議決シ得ヘク其議決スヘキ期間ヲ指定スルノ要ナシ第二縣稅戶數割ハ之ヲ前後兩期ニ分納スヘキコトハ縣稅賦課規則ニ規定スル所ニシテ縣參事會ノ議決ヲ經ヘキモノニアラス故ニ此点ニ關スル主張モ亦理由ナシ然レトモ第三ノ主張ニ係ル尾上信吉ハ賦課洩ニアラサルモノ内田寅松、庭田虎之助ハ事實賦課洩ニ屬スルモノナルヲ以テ大正元年十月二日縣參事會ニ於テ議決シタル縣稅戶數割賦課細目ハ錯誤ニ基クモノト謂ハサルヘカラス隨テ異議申立人ニ賦課シタル縣稅戶數割ハ不當ナリ

以上ノ理由ニ依リ決定ヲナスコト左ノ如シ

大正元年十月二日縣參事會ノ議決ニ基ク明治四十五年大正元年度伊都郡隅田村縣稅戶數割後期分ノ賦課ハ之ヲ取消ス

決定書

伊都郡隅田村

異議申立人 堀坂 雅樂之助

外五十二名

右異議申立ノ稟旨ハ(一)伊都郡隅田村ニ係ル縣稅戶數割ノ賦課ハ偏頗不公平ナリ(二)大正元年十月二日縣參事會ニ於テ賦課細目ヲ議決セリト傳聞スルモ公文ノ告知ナキヲ以テ其ノ課額納期ヲ知ルヲ得ス即チ縣稅徵收細則第三條ニ違背セル處分ナルカ故ニ納付ノ義務ナシ(三)戶數割ハ縣稅賦課規則第四條ニ依リ年額ヲ二分シ前後兩期ニ分納スル筈ナルニ縣參事會ノ議決ハ十月二日ナリト聞ク果シテ然ラハ既ニ前期經過後ニシテ分納スル能ハス即チ違法ノ議決ナリト云ハサルヲ得ス(四)内田寅松、庭田虎之助、尾上信吉ノ三名ハ數年來本村内ニ住居スル獨立ノ生計者ニシテ當然戶數割負擔ノ義務アルニ拘ラス之ヲ賦課戶數ニ加ヘサリシハ賦課規則第十六條第十七條ニ違背セル議決ナリト謂フニ在リ

依テ府縣制第一百五條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クル處(一)府縣稅ノ賦課ニ關シ異議ヲ申立テ得ヘキ場合ハ府縣制第一百五條ニ依リ其ノ賦課ニ違法又ハ錯誤アリト認ムル場合ナラサルヘカラス故ニ第一ノ主張ノ如ク偏頗不公平ノ廉ヲ以テ異議ヲ申立ツルヲ得ス(二)隅田村ニ係ル縣稅戶數割ノ賦課細目ハ府縣制第九條第二項ニ依リ大正元年十月二日縣參事會ニ於テ議決シタルモノナルモ其ノ議決ハ法律上之ヲ個人ニ通告スヘキ規定ナキヲ以テ本會ノ議決ニ基キ直チニ後期分ヲ賦課

シタルハトテ敢テ違法ナリト謂フヲ得ス(三)縣稅戶數割ハ之ヲ前後兩期ニ分納スヘキコトハ縣稅賦課規則ニ規定スル所ニシテ縣參事會ノ議決ヲ經ヘキモノニアラス故ニ此ノ点ニ關スル主張モ亦理由ナシ(四)然レトモ第四ノ主張ニ係ル尾上信吉ハ賦課洩ニアラサルモ内田寅松、庭田虎之助ハ事實賦課洩ニ屬スルモノナルヲ以テ大正元年十月二日縣參事會ニ於テ議決シタル縣稅戶數割賦課細目ハ錯誤ニ基クモノトス隨テ異議申立人ニ對スル賦課ハ不適當ナルモノト謂ハサルヘカラス以上ノ理由ニ依リ決定ヲナスコト左ノ如シ

大正元年十月二日縣參事會ノ議決ニ基ク

明治四十五年

大正元年年度伊都郡隅田村縣稅戶數割後期分ノ賦課ハ之ヲ取消ス

裁 決 書

伊都郡隅田村大字中島千十二番地

訴願人總代

塙坂 雅樂之助

同郡同村同大字七百九十一番地

同

石橋爲三郎

同郡同村大字垂井四百六番地

同

尾崎 泰夫

右訴願ノ要旨ハ村稅戶別割ハ縣稅戶數割ノ附加稅ナルヲ以テ均一ノ率ヲ以テ課スヘキ筈ナルニ同村戶別割ノ徵稅令書ヲ見ルニ甲者ニ對シテハ戶數割ノ六倍四〇九九五、乙者ニ對シテハ六倍四〇九、丙者ニ對シテハ六倍四一〇四八、丁者ニ對シテハ六倍四〇等不均一ナリ依テ正當ニ訂正シタル上ニアラサレハ納稅スル能ハスト謂フニ在リ

右ニ對スル伊都郡隅田村會隅田村長辯明ノ要旨ハ四十五年度本村稅戶別割ノ賦課ハ訴願人ノ申立ツルカ如ク區々亂雜ノモノニアラスシテ等シク縣稅戶數割ニ對スル六倍四一ノ率ヲ以テ均等ニ賦課シタルモノナリ抑訴願人等カ取りテ以テ算定ノ標準トシタル縣稅戶數割各等ノ賦課額ハ村會ノ議決ヲ經タルモノニアラスシテ議決準備ノ爲協議會ニ參考トシテ提出シタル草案ノ金額ナリ其ノ村會ニ於テ議決シタル縣稅戶數割賦課細目ハ第一號証ノ如シ此議決ニ基キテ賦課シタルモノ即チ各人ニ配付シタル徵稅令書記載ノ賦課額ハ之レ皆均一ノ課率タル縣稅戶數割ノ六倍四一ナリト謂フニ在リ

依テ町村制第百十條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クル處隅田村長辯明ノ如ク訴願人ノ主張スル縣稅戶數割各等ノ賦課額ハ村會ノ議決ニアラサリシモノヲ算定ノ基礎トシタルモノニシテ訴願人ニ賦課シタル村稅戶別割ノ稅額ハ村會ノ議決シタル本稅ノ六倍四一ニ相當シ決シテ違法錯誤ノモノニアラス然レトモ同村ニ係ル縣稅戶數割賦課細目ハ明治四十五年四月一日現在ノ賦課戶數ニ錯誤アルコトヲ發見シタル結果大正二年三月十一日本會ニ於テ其ノ賦課細目ヲ更正議決セシヲ以テ訴願人ニ賦課シタル明治四十五年大正元年度村稅戶別割前半期分ハ錯誤ニ基ク課稅ナリト謂ハサルヘカラス以上ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

大正元年八月二十六日伊都郡隅田村會ノ爲シタル決定ハ之ヲ取消ス

裁 決 書

伊都郡隅田村大字中島千十二番地

訴願人總代 塙坂雅樂之助

同郡同村同大字七百九十一番地

同 石橋爲三郎

同郡同村大字垂井四百六番地

同 尾崎泰夫

右訴願ノ要旨ハ(一)隅田村本年度縣稅戶數割ノ賦課ハ行政裁判所ニ於テ取消サレタルヲ以テ其ノ附加稅タル戶別割モ無論賦課スヘキモノニアラス(二)縣參事會ハ大正元年十月二日同村縣稅戶數割ノ賦課細目ヲ議決セシト傳聞スルモ納稅義務者ニ公式ノ通告ナキ爲之テ公認スルヲ得サルノミナラス其ノ議決ハ本縣々稅賦課規則第四條ニ違背スルヲ以テ其ノ附加稅タル戶別割ヲ納付スルノ義務ナキモノナリ村會ノ決定書ニ依レハ縣參事會ノ議決ヲ一般ニ告示セリト記載シアルモ未タ會テ其ノ告示ヲ認メス假リニ告示セリトスルモ其ハ徵稅上ノ手續ヲ盡シタルモノト謂フヘカラス徵收ノ手續ハ縣稅徵收細則ニ依リ徵稅令書又ハ傳令書ヲ以テ各納人ニ發令スルニアラサレハ其ノ効ナシ(三)村稅ハ其ノ稅率及納期ヲ村會ニ於テ議決スヘキ筈ナルニ第一期ノ納期ノミ十月二十五日ト定メタルモ後期ノ納期及稅率ヲ定メサルハ違法ノ賦課ナリト謂フニ在リ

右ニ對スル隅田村長辯明ノ要旨ハ(一)村會ノ議決ニ基ケル縣稅戶數割ノ前期分ノ賦課ハ曩ニ行政裁判所ノ判決ヲ以テ取消サレタルモ村稅戶別割後期分ノ本稅タル縣稅戶數割ノ賦課細目ハ大正元年十月二日縣參事會ニ於テ議決セシ所ニシテ適法ノモノナルヲ以テ不當ノ課稅ニアラス(二)告示ニ關シテハ第二號証ノ如ク大正元年十月十五日告示第六號ヲ以テ村慣行ノ方法ニ依リ一般納稅者ニ告示セリ(三)稅率納期ニ關シテ前期ノミ十月二十五日ト定メタルモ後期ノ納期及稅率ハ之ヲ定メスト主張スレトモ之レ事實ニ反スルモノナリ稅率ハ既ニ豫算議決ノ際ニ於テ同時ニ議決セシ所ニ屬ス又納期ニ付キテハ大正元年十月九日ノ村會ニ於テ縣稅徵收期日ト同時トストノ議決ヲナシ

タルモノニシテ訴願人ノ主張ハ全然事實ト相反スルモノナリト謂フニ在リ
 依テ町村制第百十條ニ依リ之ヲ受理シ審査テ遂ク尙隅田村長カ訴願人ニ賦課シタル明治四十五年
 度村稅戶別割後期分ハ大正元年十月二日本會ノ議決ニ基ク縣稅戶數割ニ附加シタルモノニシテ適
 法ナリ而シテ本會ノ議決セル縣稅戶數割賦課細目ハ之ヲ法律上納人ニ告知スル規定ナキヲ以テ其
 ノ議決ニ基キ直ニ賦課シタレハトテ決シテ失當ナリト謂フヲ得ヌ又告示ノ發布、稅率及納期ノ議
 決ハ隅田村長辯明ノ如ク夫々履行セルハ事實ニシテ此等ノ點ニ關スル訴願人ノ主張ハ毫モ理由ナ
 キモノナリ然レトモ同村ニ係ル縣稅戶數割賦課細目ハ明治四十五年四月一日現在ノ賦課戶數ニ錯
 誤アルコトヲ發見シタル結果大正二年三月十一日本會ニ於テ其ノ賦課細目ヲ更正議決セシヲ以テ
 訴願人ニ賦課シタル明治四十五年大正元年度村稅戶別割後期分ハ錯誤ニ基ク課稅ナリト謂ハサルヘカラス
 以上ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ
 大正元年十二月二十八日伊都郡隅田村會ノ爲シタル決定ハ之ヲ取消ス

○衛生

○臺灣ニ於ケルメスト患者發生死亡數左ノ通り(大正二年三月三十一日內務省衛生局調)

應名	月	日	發	生	死	亡
嘉義廳	三月	十六日	一	一	一	一
同	同	十八日	一	一	一	一
同	同	二十日	一	一	一	一
同	同	廿一日	二	一	一	一
同	同	廿三日	一	一	一	一

計 一二、二五〇名
 ○自三月一日同上
 至三月十日 同上

種別並患者數

生徒患者 二八五名 一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 計
 其他患者一、九六五名 四八 七九 一二〇 一〇八 一六三 一五四 一九一 一四八 一一〇 一七四 一一、二九五
 計 一二、二五〇名 八四 二五四 三三三 三〇一 三三三 三五四 三三三 二八三 三四九 二、九一五
 ○自三月十一日同上
 至三月二十日 同上

種別並患者數

生徒患者 二八五名 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 計
 其他患者一、九六五名 一二〇 一一六 一四四 一四八 一一六 九一 一四四 一一一 一〇〇 一一六 一、二〇六
 計 一二、二五〇名 一六八 一八九 一八三 一四一 一六八 一九五 一二一 一六七 一三七 一二四 一、五九三
 ○自三月廿一日狩宿診療所「トラホーム」患者治療旬報
 至三月卅一日 同上

種別並患者數

生徒患者 一四三名 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 卅日 卅一日 計
 其他患者 七八三名 七 八 一 六九 六二 五四 七四 七六 四六 一 七七 六一〇
 計 九三三名 一九六 一八九 一 一七八 一六四 一六〇 一八五 一七九 一三四 一 一八八 一、五七〇

○ 觀 象

大正二年自四月四日至四月六日氣象

(和歌山地方測候所觀測)

種 目	四 月 四 日		四 月 五 日		四 月 六 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六七純二	七六四純五	七六六純六	七六三純三	七五七純一	七六〇純八
平均氣溫	六度二	一一度九	六度八	一四度六	一二度一	一六度九
最高氣溫	一一度〇	一九度三	一一度二	二〇度七	一五度九	二二度七
最低氣溫	二度四	五度三	〇度九	七度六	八度四	一二度四
最多風向	北	西南西	北東	南西	北西	南西
平均風力	四米五	二米五	一米八	六米三	二米七	四米五
天 氣	晴	晴	曇	晴	曇少雨	午晴
降水量			〇純四		七純二	
記事雜象	晝間日暈ヲ映シ夜間月暈現ル		曉間月暈ヲ映シ夜間降雨ス風雨強カ ル可シ夕刻縣下全 部ヲ警戒ス	午后一時ヨリ四時迄南西ノ強風吹ク 風雨強カル可シ夕 刻縣下全部ヲ警戒 ス	朝雨降雨夕刻縣下 全部ノ警戒ヲ解除 ス	

大正二年四月八日印刷
大正二年四月九日發行
和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房
和歌山市北休賀町六番地
和歌山市北休賀町六番地
和歌山市北休賀町六番地
和歌山市北休賀町六番地
和歌山市北休賀町六番地